

莊司貴代 しょうじたかよ

略歴)

- 2002 東京女子医科大学卒業、同小児科で臨床研修
- 2009 感染制御部感染症科助教
- 2011 東京都立小児総合医療センター 感染症科スタッフ
- 2014 静岡県立こども病院 総合診療科スタッフ
- 2015 小児感染症科新設
- 2017 内閣官房第 1 回薬剤耐性対策普及啓発活動表彰
「薬剤耐性を減らそう応援大使賞」受賞
- 2018 静岡県立こども病院 医療安全部 感染対策室長
静岡県感染症発生動向委員会 AMR 対策部会 委員
- 2020 静岡県新型コロナ対策感染症専門家会議 委員
ふじのくに感染症専門家チーム FICT メンバー

資格) 小児科専門医/感染症専門医/PALS provider/PFCCS provider/
新臨床研修指導医/認定小児科指導医/Infection Control Doctor/
Certificate of Traveler's Health

●小児感染症科の紹介：

小児感染症科は総合診療科に属し、レジデント教育・ER 診療・小児総合診療・在宅医療を感染症の診療／予防の視点でバックアップしています。回診、細菌検査研修、他施設との合同カンファレンスなど教育機会を設け、3年のレジデント期間に世界標準の小児感染症診療が出来るように指導しています。

●抗菌薬適正使用チーム(SAT)：

当院着任後に結成し8年目となりました。現在は検査技師、薬剤師と連日感染症診療をしている担当医にフィードバックをしています。医師が広域抗菌薬を処方する理由は、患者の安全を担保したい気持ちの表れです。担当医と「患者を治す」というゴールを共有し、確実で具体的な代替案を提示することが重要です。感染症診療の質を担保しながら、広域抗菌薬使用量と耐性菌検出は 1/3 に削減し、抗菌薬コスト削減に寄与しています。2017年3月にSATは内閣官房による第1回薬剤耐性対策普及啓発活動表彰で「薬剤耐性を減らそう応援大使賞」を受賞しました。

●静岡耐性菌制御チーム Antibiotic Awareness, Shizuoka：

2017年3月に静岡県内の抗菌薬適正使用活動を開始しました。近隣の感染症医・感染制御専門薬剤師・感染制御認定臨床微生物検査技師と行政を巻きこんで、静岡耐性菌制御チーム Antibiotic Awareness, Shizuoka(代表：静岡がんセンター感染症科 倉井華子)を結成しました。県内の抗菌薬使用量サーベイランス・アンチバイオグラム作成・勉強会を予定しています。2018年10月に設置された静岡県感染症発生動向委員会AMR対策部会の実働部隊として機能しています。

●静岡の皆様へ：ともに薬剤耐性菌と戦いましょう

急激な耐性菌の増加と新規抗菌薬開発の停滞により、子ども達が将来耐性菌感染症で死亡するという悪夢が現実となりつつあります。勉強会・症例検討会で当院の耐性菌による被害状況や賢い抗菌薬の使い方について取り上げています。是非ご参加ください。また保護者や市民に広く「風邪に抗菌薬をつかうのをやめよう」と発信しましょう。将来の子ども達に抗菌薬を残すため、ともに行動をおこしましょう。